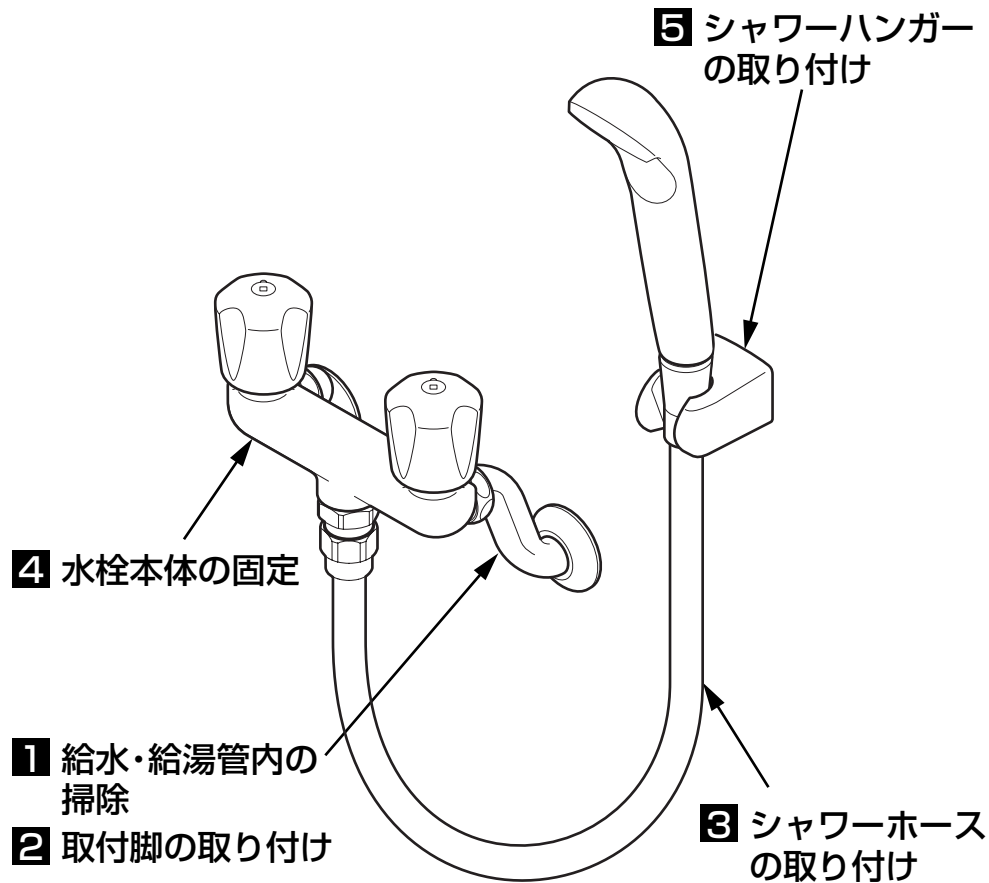


施工手順

取り付けかた



1 給水・給湯管内の掃除

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

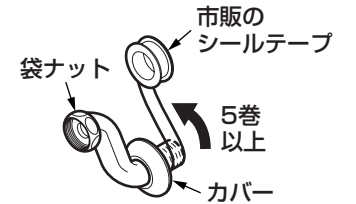
重要

2 取付脚の取り付け

- ①取付脚に袋ナットを通し、カバーをねじ込む。
- ②ねじ部に市販のシールテープを巻く。

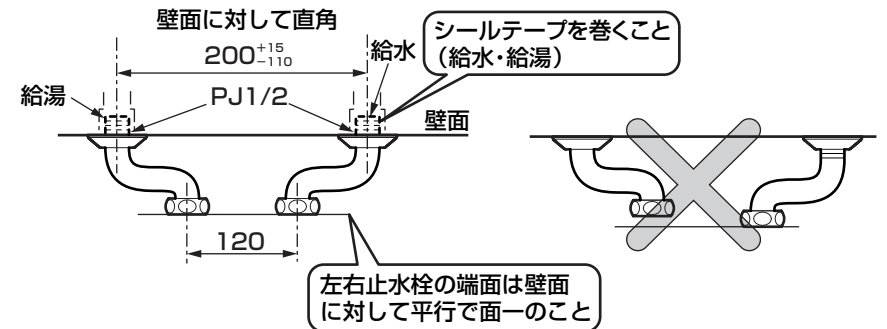
注意

- シールテープを巻く方向に注意してください。
- シールテープは必ず5巻き以上巻いてください。



- ③取付脚をねじ込む。

※締め込みがゆるい場合は一度取り外し、シールテープを多く巻いて再度ねじ込んでください。



取り付けかた

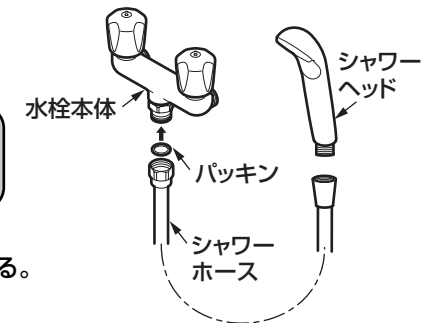
3 シャワーホースの取り付け

- ①シャワーホースを水栓本体に取り付ける。

注意

パッキンが入っていることを確認してください。

- ②シャワーヘッドをシャワーホースに取り付ける。



4 水栓本体の固定

- ① 水栓本体を取付脚に取り付ける。
- ② 水平になるように調整しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。

注意

●ゆるみがないようにしっかり締めてください。

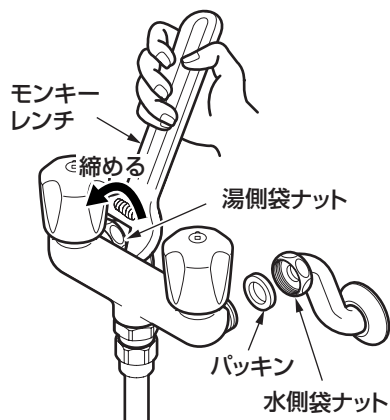
袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。

●取付脚は回さないでください。

配管との接続がゆるみ水漏れのおそれがあります。

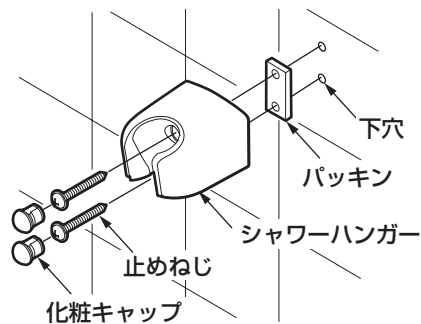
●パッキンが入っていることを確認してください。

パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

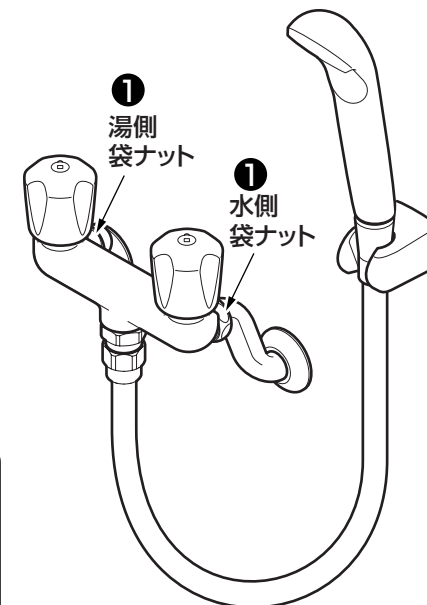


5 シャワーハンガーの取り付け

- ① 下穴を開ける。
※取付位置はP.7の「完成図」を参照
- ② パッキンをシャワーハンガーの裏面に貼る。
- ③ 止めねじでシャワーハンガーを固定する。
- ④ 化粧キャップをねじ穴に確実に押し込む。

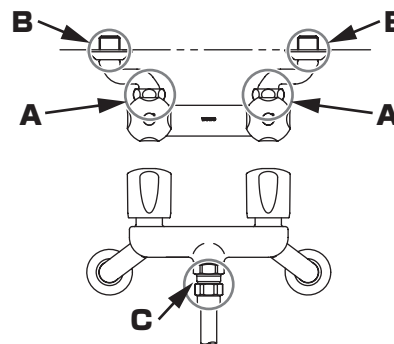


取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。



A・Cから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

Bから水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどが無いことを確認のうえ、再度シールテープを巻き、取り付け直してください。

ガタツキの確認

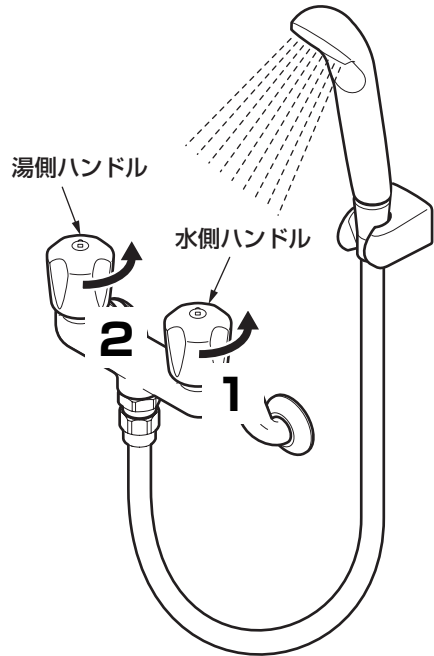
水栓本体のガタツキがないか確認してください。

① 袋ナットのゆるみはないですか？

➡ 4 「水栓本体の固定」参照 (P.11)

使いかた

流量・温度調節のしかた



1. 必ず水側ハンドルから反時計回りに回す。

2. 湯側ハンドルを反時計回りに回して流量・温度調節する。

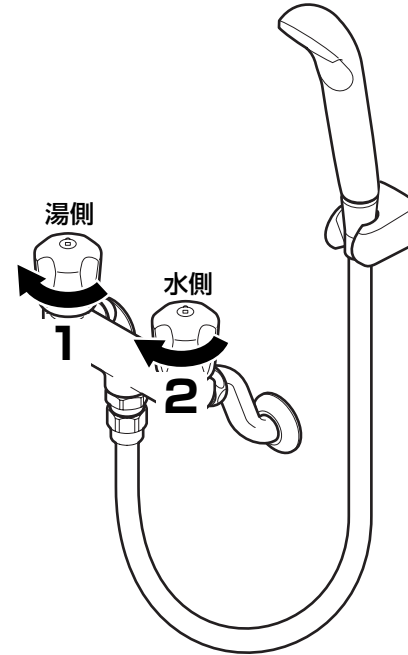
湯側から回すといきなり熱湯だけが出てやけどをするおそれがあります。



豆知識

誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。

水を止める



1. 必ず湯側ハンドルから時計回りに回す。

2. 水側ハンドルを時計回りに回す。

※水側から回すと熱湯だけが出てやけどをするおそれがあります。

※ハンドルはゆっくり操作してください。ウォーターハンマー現象が発生する場合があります。



豆知識

- ハンドルを閉めたあと、シャワーからしばらく水が垂れることがあります。これはシャワーヘッド内部の残留水が排出されるものです。数分間止まらないときは、ハンドルが完全に閉まっているか確認してください。
- 「ウォーターハンマー現象」とは、急に水を止めたときに「ドン」という大きな音がする現象で、水栓の不具合ではありません。配管の損傷や水漏れの原因となる場合がありますのでご注意ください。

